



(公社)静岡県獣医師会長賞

## ビーちゃんの気持ち

六年 塚本 董

私の祖母の家には、今一匹の猫がいます。その子の名前はビーちゃんと言って、幸せそうに暮らしています。冷蔵庫の上に登ってゆっくりしていたり、料理をしているときに台所の上に登ってその料理をしているのを見ていたりします。ゴミ箱の中に入って祖母にたまに怒られることもあるけれど、袋の中に入っているところを持ち上げて遊んであげたり、冬にはこたつの中で温まりながら寝ていたりするとところを見ると、ビーちゃんのこんな幸せがずっと続くといいなと思います。

ビーちゃんはもともと野良猫でした。最初に見つけたとき、トラックの下に二匹の猫がいて、トラックが動いたら死んでしまう状況でした。なんとかして出してあげたいけれどなかなか助けてあげることができなくて、時間がかかりました。やっと助けてあげられたときは、ちよつとまだ警戒しているような感じで、まだ目もあまり合わせてくれなくて細い筒の中に入ってしまいました。それからご飯をあげているうちに、だんだん近づいてくれるようになったので、祖母の家で飼うことになりました。二匹いたので、名前をエーちゃんとビーちゃんにしました。二匹は、最初に見つけた時よりもだんだん大きくなって、びっくりするほど速いスピードで走り回るようになりました。二匹で楽しそうに過ごしていました。

でも、エーちゃんをいとこの家に渡すことになりました。二匹だと祖母も飼うのが大変だからだそうです。その時わたしは、エーちゃんとビーちゃんの気持ちがわかったらいいのになと思いました。なぜなら、引き離される二匹が、本当は一緒にいたいと思っているのか、別々に暮らすことを気にしていないのかを知りたいと思ったからです。本当は一緒にいたいと思っているのに、人間の都合で引き離されるのはかわいそうです。自分だったら、今まで一緒に暮らしていた兄と引き離されるのはとてもつらいです。だから、動物の言葉や気持ちがわかったらいいのになと思いました。

今、わたしの心配をよそに、エーちゃんはいつも楽しそうに暮らしているそうです。エーちゃんもビーちゃんもどちらも幸せだから、そうしても良かったかもしれないと思いました。もう飼えないから捨てるのか、飼い始めた動物に愛情を込めずに捨てることか飼い始めてもその動物をそのまま放置することが一番良くないことだということです。ビーちゃんは、今では私が帰った頃に窓から外を見ていたり、冷蔵庫の上に乗ったりとほのぼのと暮らしています。最近だと冷蔵庫の上に行く階段も買ってもらっていて前よりも冷蔵庫の上に行きやすそうにしています。わたしもビーちゃんをかわいがり、いつまでもエーちゃんとビーちゃんの幸せが続くようにしたいと思います。